

皇學館大学史料編纂所主催特別展

福富家文書展

福富家文書は山城国淀藩稲葉家の家臣であった福富家に伝来した文書です。

福富家は戦国武将、稲葉良通（一鉄）に仕えた岡部長教の子孫で、豊後大友家の支族、野津家の末裔と姻戚関係にあったことから、野津家文書というべき中世文書を含み、古文書学的にも貴重なものです。

主要な展示文書

野津本「北条系図・大友系図」	(鎌倉後期)
野津親久代惟親軍忠状	(建武5年)
後光厳天皇口宣案	(貞治3年)
大友家奉行人連署奉書	(享禄2年)
大友宗麟書状	(戦国時代)
豊臣秀吉朱印状	(安土桃山時代)
徳川家康御内書	(安土桃山時代)

展示期間 平成19年12月3日(月)～平成20年2月2日(土) **観覧無料**

(土曜午後、祝日・日曜休館) *12月3日は2時半以降に一般公開

開館時間 午前9時～午後4時(土曜日は正午まで)

場所 皇學館大学伊勢学舎 佐川記念神道博物館 第2展示室

このたび皇學館大学史料編纂所では、来る平成20年正月23日が「福富家文書」をご寄贈いただいてより、ちょうど10年の節目に当たるのを記念し、佐川記念神道博物館におきまして「福富家文書展」を開催、あわせて展示図録をも兼ねた刊本『福富家文書』を刊行します。



野津本「北条系図・大友系図」

本系図は、嘉元2年(1304)、豊後国の野津院で書き写されたと伝えられる系図古写本であり、前半に桓武天皇から始まる平氏「北条系図」、後半に大織冠鎌足から始まる藤原氏「大友系図」が記されている。嘉元2年当時の大友家当主貞親の妹(実は伯母、大友頼泰女)は、時の得宗北条貞時の叔父宗頼と結婚して一子宗方を為しており、本系図はそうした姻戚関係を基に作成されたものと考えられる。なお本系図は昭和60年(1985)、田中稔氏によって『国立歴史民俗博物館研究報告』第5集に紹介されて以来、学界の注目を集めてきた第一級史料である。